

講 義 要 項

授業科目		人 間 工 学		担当者	湯ノ口 万友
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次 前期
授 業 目 標	1. 人間とモノとの関係を追求してきた人間工学に関する技術や知識を修得することが本講義の目的の一つである。そして、看護者が人間(患者)を扱うときに被る障害(腰痛など)から自分自身の身を守るために必要な人間工学の技術や知識を学ぶことがもう一つの目的である。				
授 業 内 容	1. 人間工学とは(講義の目的と進め方) 2. 人間—機械系(人間が機械を操る) 3. 人間の感覚器Ⅰ 4. 人間の感覚器Ⅱ 5. 人間の感覚器Ⅲ 6. 人間の諸特性と姿勢・動作 7. 人間工学とボディメカニクスⅠ 8. 人間工学とボディメカニクスⅡ 9. 人間工学とボディメカニクスⅢ 10. 人間工学の応用(仕事と人間工学) 11. 人間工学の応用(作業空間レイアウト) 12. 動作と作業スペース 13. 環境と人間工学 14. 看護の安全と人間工学 15. 試験				
参 考 文 献 等	1. 小川 續一著：イラストで学ぶ看護人間工学, 東京電機大学出版局.				
評 価	1. レポート 40%と筆記試験 60%で総合評価する。				
備 考	実務経験：大学での授業経験が豊富であり、人間工学の教育の実務経験がある。 欠席をしない。欠席をした場合には、講義の内容についてのレポートを提出する。				